

アサザの古民家（こみんか）へようこそ

アサザの古民家では、牛久の昔の暮らしを体験してもらうことができます。

昔の人たちは、自然をいかして、ゴミを出さない、地球を温暖化しない、川や湖を汚さない、じゅんかんがたのくらしをしていました。昔のくらしから多くのことを学ことができます。未来の牛久、未来の地球を考える学習に、アサザの古民家での体験を生かしてくださいね。



近くの牛久第二中学校（今のおくの義務教育学校）の生徒の皆さんが、家の中の掃除や片づけなどを手伝ってくれました。庭にあるビオトープも作ってくれました。



ヤギさんの親子



白い馬はメスのワッカ 黒い馬はオスのルーです。



ニワトリは自由に外を歩きまわってミミズや虫や草などを見つけて食べています。夕方になると、みんな鳥小屋に戻ってきます。

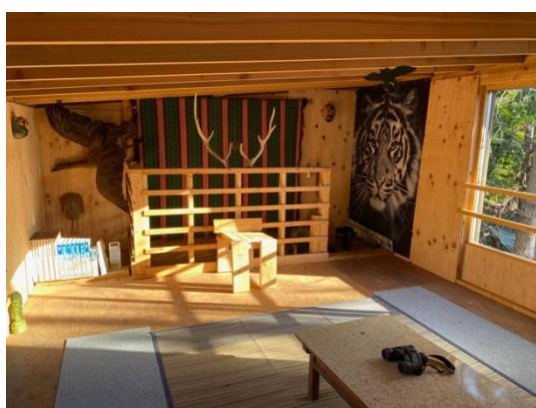
馬や山羊のエサは、使わなくなった畑に生えている草や竹やぶの竹の葉やくず野菜など地元で取れるものだけをあげています。馬のフンは、堆肥（たいひ）にして、野菜や米の肥料にしています。



古民家のうらは全部竹やぶでお
おわれていました。
竹を切って、昔の環境に戻しま
した。



切った竹は、古民家のかまどやストーブやふろ（五右衛門風呂）の燃料として使います。



切った竹を使って、お
皿やペン立てや花瓶
やお箸などを作るこ
ともできます。
昔の人たちは、プラス
チックの代わりに竹
をいろいろな物に使
っていました。

馬小屋の2階の秘密基地

アサザの古民家のまわりには、手入れのされた森や竹林や田んぼがあるので、トンボやカエル、カブトムシ、フクロウ、タカ、ホタル、野草など、昔の牛久に普通にいた生き物たちを見ることができます。みんなも、生き物を見つけてみよう！

NPO 法人 アサザききん

asaza@www.asaza.jp